

災害に強い町をめざして 防災教育の推進



議員としての心構えを議論

今期の議会では、災害に強い町をめざして、防災教育の推進を大きなテーマとして掲げています。

6月17日に防災研修を行い、町危機管理課と防災マニュアルを基に、災害発生時の初動体制等、議員として災害に対してどう向き合うかを議論しました。

また、今後の防災教育推進の参考にするために、粕屋南部消防本部防災センターを視察し、さまざまな災害模擬体験を行ってきました。



水消火器を使った消火体験



風速25mの暴風体験

備えあれば憂いなし 防災備蓄倉庫視察



最終処分場内に設置

5月25日に防災備品を保管している防災備蓄倉庫の視察を行いました。

出水期や台風の時期にはあらかじめ、町立武道館やうみハピネスなどの第一次避難所に防災備品を配備しておくとともに、避難所が学校にも拡大された際には、すぐに運搬できるよう整理されています。



危機管理課職員による防災備品の説明



大規模災害での電源喪失に備えて大型発電機を9台準備

新たな時代を切り開く議会に 議会改革調査特別委員会の取組

令和4年3月より議員定数を14人から12人に削減しました。私たちは町民の皆様にご信頼いただける議会にするため、議員個人の資質を更に向上させるとともに、町政に関心をもっていただくためにも、情報発信に力を入れ、議会そして議員自らが変わっていく姿勢を示さなくてはならないと考えています。

まずは法令遵守の推進から コンプライアンス研修会を開催

今回の研修では、改選後改めて、規範意識・法令遵守など議員としての心構えを確認しました。当日は、弁護士の帖佐 直美(ちよさ なおみ)氏による講義をリモートで受講しました。講義は、特に発言内容やSNS等を使った情報発信について、過去に起こった事例を踏まえた内容で大変有意義な研修となりました。



タブレット端末の導入で経費削減

4月臨時会でタブレット端末の導入に関する予算を可決し、11月からタブレット端末を使い議会を運営します。

タブレット端末を使うことで、印刷製本費の削減や、議案書資料等とのじ合わせなどに要する人件費の削減、また資料の保管も不要となるなど、大きな経費削減効果が見込まれます。

また、インターネットを活用した情報の入手も行いやすくなり、議員個人の資質向上にも活用できます。

